

# 〔堆肥施設の紹介コーナー〕 新庄村の特産品「ひめのもち」を支える 「新庄村堆肥センター」

美作県民局畜産第2班

「新庄村堆肥センター」は、資源循環型農業の拠点として、新庄村が平成13年度に整備し、畜産農家で構成する「新庄村堆肥生産組合」（別称：グリーンガイア）が、施設の管理運営及び堆肥の運搬・散布等を行っています。



ここで生産される堆肥は、『身土不二（しんどふじ）』という名で販売されており、和牛と乳牛の牛ふんに、国産木材のオガクズをミックスし、6ヶ月間じっくり熟成させ良質な堆肥となります。（平成14年度岡山県良質堆きゅう肥共励会最優秀賞受賞。）



バラ堆肥の料金は4,500円/tで、散布は堆肥生産組合が5,000円/10aで行っています。バラ堆肥の運搬料は県内は無料で行っています。

また袋詰め堆肥（20kg/袋）の販売も行っており、1袋400円で購入出来ます。



## 新庄村特産品「ひめのもち」の影の立役者

「ひめのもち」は、旭川の源流であるブナ原生林「毛無山」一体から湧き出る清流と、恵まれた大地から生まれる餅米「ヒメノモチ米」から作る杵つき餅で、白さ、キメの細かさ、粘り、甘みが素晴らしく、購入者の多くがリピーターとなり、出荷量も年々増加傾向にあります。（H21年度：224t販売）

平成14年度に「新庄村ひめのもち加工場」を村が整備し、これを契機に「ひめのもち」の生産・販売が本格的に始まりました。

「ヒメノモチ米」の生産は、村内の水田のおよそ7割にあたる63haで行われており、堆肥は年間約900t利用されています。

村では、行政と生産者が一体となり「新庄村の米は、新庄村の堆肥で育てる」取り組みを進めています。

その結果、生産者から「精米後の歩留まりが大きくなった（耕種農家）」、「ひめのもちの粘りが増し、商品価値が高まった（加工業者）」などの声が寄せられており、堆肥センターの堆肥は「ひめのもち」には欠かせない存在となっています。



良質堆肥の生産が、水田の地力増進等につながり、「ひめのもち」の品質向上に繋がっていきます。食の基本は土にあるということを念頭に、これからも耕種農家の求める堆肥を供給していく必要があると考えています。

今後とも、耕畜連携の要として、新庄村の特産品「ひめのもち」を支える新庄村堆肥センターの活躍が期待されます。